



「MAPベース地域振興情報発信プラットフォーム」実証実験時の表示画面

### デジタルマップに 地域の学生の視点を

この日の「みやぎSDGs塾」実践コースでは、大日本印刷が五橋エリアへの展開を検討している「MAPベース地域振興情報発信プラットフォーム」の運用についてディスカッションしました。

受講者からは「アルバイト募集やテイクアウト情報など、曜日ごとにテーマを決めてマップ上で発信する」「短時間のお手伝い募集を掲載することで、地域住民や商店主と学生との交流が生まれる」など、デジタルマップ活

### 「地域で子育て」軸に 議論が盛り上がる

「MAPベース地域振興情報発信プラットフォーム」はインターネット上の地図「デジタルマップ」に飲食店や観光スポットなどの情報を掲載するもので、SNSの投稿などリアルタイムの情報が反映されるのが特徴です。受講者らは2023年春に同エリアの新キャンパスが本格稼働した東北学院大学の学生と連携することも視野に入れ、「デジタルマップの活用が地域の活動に関わることで、学生および地域にどのような効果が期待できるか」などの観点で意見を出し合いました。



「みやぎSDGs塾・実践コース」でディスカッションする参加者

### みやぎSDGs塾って？

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成し、2021年11月から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから！

**みやぎSDGs Farm**  
賛同企業 募集中!!

公式HP   
お申し込み・問い合わせ  
河北新報社営業局  
TEL / 022-211-1318  
MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

拒否権を行使する娘に、妻が流したDVDで空気が一変。映し出されたのは、かいいじゅうステップSDGs大作戦(かわいいかいいじゅう達がSDGsをわかりやすく教えてくれるアニメ)でした。それを観て一転、賛成票を投じる娘。かいいじゅう達は教えてくれました。子どもには理屈よりも、楽しい映像やわかりやすい表現が有効なことを。SDGsとは「せいかいいじゅうの、だれだってげんきにしよう さくせん」だったのです。

可決された我が家のSDGs宣言は「フードロスから世界と家計を元気にしよう大作戦」なのです。



2023年3月、河北新報社で「みやぎSDGs塾」の講座が開催されました。「実践コース」では、参加企業の実践に学生の力を活用する方策について受講者が意見を出し合いました。

## 学生と連携し「住み続けられるまちづくりを」

「MAPベース地域振興情報発信プラットフォーム」はインターネット上の地図「デジタルマップ」に飲食店や観光スポットなどの情報を掲載するもので、SNSの投稿などリアルタイムの情報が反映されるのが特徴です。

また、児童館に勤める参加者が「子どもたちにとって、お兄ちゃん・お姉ちゃんが遊んでくれるのはうれしいこと。マップの活用によって交流が活発になってほしい」と期待の声をあげました。他の参加者も「公園の除草などで地域の子どもたちと学生、町内会が協力できたら大人たちも参加しやすい」と話すなど、地域ぐるみでの子育てについての議論にも発展しました。

# みやぎSDGs Farm

## 活動レポート

第15号

2023年4月26日(水)

主催・発行：河北新報社営業局  
特別協力：SDGsとうほく

### 標準コース 第5回開催レポート

～「みやぎSDGsアンバサダー」20人誕生～

### 宣言文を読み合う

この日の「みやぎSDGs塾」は、第2ターム・前期の最終回(5回目)。「標準コース」の受講者は最終課題として書いた「わたしのSDGs活動宣言」を互いに読み合い、「1文1文が短くて読みやすい」「個人の考えが具体的に書いてあるから興味をもって読めた」などと感想を伝え合いました。

活動を終えた参加者らは「人に読んでもらう文章に仕上げるのは難しかった」「他の人の感想を聞いて改善策が見つかった」などと話しました。今回「標準コース」を修了して「みやぎSDGsアンバサダー」



新たに20人の「みやぎSDGsアンバサダー」が生まれました

### わたしのSDGs活動宣言

#### 「我が家の大作戦」

宮城県民共済生活協同組合 多勢 剛さん



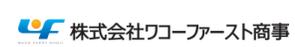
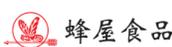
「他人ごとにしらない。日々の生活の何気ない行動がSDGsにつながる。みやぎSDGs塾に参加して印象に残ったワードです。」

身近なことだからこそ、普段から意識づけることで少し未来をよくすることができるとSDGsを身近なものにして「家族に伝え、一緒に動き始めました。我が家は妻と娘の3人家族。家族会議で、「娘が好きなアンパンマンのパンよりも、賞味期限が近く値引きされたパンを選ぼう」と提案しました。決してお得だからではなく(それもちょっとありますが)、フードロスの観点からです。4歳の娘は大反対。もったいないからだよ」と伝えても効果はありません。

### 第2ターム参加者(敬称略)

【あすなる学院】佐々木慶太、齋藤学【荒町商店街振興組合】庄子康一【YES工房】大森文広【いなか道の駅やしまや】八島哲郎【H.Simple Design Studio】小山田陽【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩騷】加藤貴伸【コカ・コーラ ボトラーズジャパン】遠藤巧【コスモ警備】佐藤裕樹【スイコー】斉藤綾子、赤根早咲【スタイルスグループ】千田佳子【竹鶏ファーム】赤淵利恵【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、矢島迅人、森勇大【チャレンジドジャパン】庄子早紀【フクダ・アンド・パートナーズ】千葉真紀子、加藤祐、阿部真美【宮城県民共済生活協同組合】多勢剛、関口拓真、細川薫、相澤貴洋、松田唯花、鈴木崇史【ミライツ】鈴木圭介【リコージャパン】内山直人、工藤千穂【ワコーファースト商事】若生有加【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】千葉よかこ【学生】小宮山岬希、菅井百花、宇佐美綾野【オブザーバー】紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

### 賛同企業・団体・個人



荒町商店街振興組合 YES工房 H.Simple Design Studio オフィス塩騷 WACO CREATE 千葉よかこ

特別協力 SDGsとうほく 協力 宮城県 JICA 東北 尚綱学院大学SDGsアクション委員会